

## 事例概要

※以下の事例は事務局で作成した架空事例です。

### 事例Ⅰ Aさん(20代男性)

### Aさん(ひきこもり当事者)からの相談

Aさんは現在、50歳代の父母との3人暮らし。小さい頃から几帳面でこだわりが強い子どもでした。引っ込み思案なところもあり、友だちと遊ぶより一人遊びが好きだったということです。小中学校時代にはたびたび不登校の時期があり、思春期になると父母の不和など家庭内の不安定さの影響から情緒不安定になり、心療内科を受診した時期もありました(その後、受診中断)。

通信制高校に入学するも、科目選択やレポートの提出方法、スクーリングへの抵抗感から挫折。その後、短期バイトをしていた時期もあったものの続かなかったようです。専門学校や資格取得を目指してパンフレットを取り寄せたり、試験を受けようとした時期もあったものの、いずれも実現しなかったとのこと。最近も就活サイトを見ているそうですが、行動には移せていない様子です。

気分が波があるので、調子が良ければコンビニへの買い物などの外出も出来ますが、不調になると意欲が低下し、風呂にも入らず、あまり食事も摂らずに部屋にこもってしまうということでした。

「何かしようと思ってる」「同級生がもうすぐ就職する時期だから」というAさんの言葉からは、焦りも感じられ、今後に不安を感じている様子がうかがえました。

### 【事前質問】

Q1. 貴所属団体では、学生時代のAさんやその家族にどのような関わりができますか？

Q2. 貴所属団体では、現在のAさんにどのような関わりができますか？

今後考えられる支援も含めて、具体的にご記入ください。

Bさんは、職場での対人関係のトラブルから仕事を辞めて以降、自室にひきこもるようになりました。退職後、父母は再就職を強くはたらきかけていましたが、Bさんが就職活動をすることはありませんでした。父母はそれ以上強く言うことが出来ないまま、月日が経っていったようです。何度か病院受診も勧めたことはあるとのことでしたが、「健康上の問題はない」とBさんが強く主張したため、医療にかかることも断念してしまいました。

数年して貯金が尽きたBさんは、親に小遣いをせびるようになりました。また、気に入らないことがあると物に当たり散らしたり、大声をあげたりします。母は言葉を濁すので、暴力については不明です。

Bさんの生活は不規則で、シャワーや着替えは数日おき。食事は冷蔵庫のものや菓子パン、カップ麺など、家にあるものを適当に食べているようです。

貯えがなく、80代の父母の年金収入のみの生活は経済的に苦しいうえ、持病があり要介護状態にある父の健康面の不安に加えて、最近になってBさんのきょうだいも離婚し、小学生と乳児の子どもを連れて戻って来たことで、母は孫たちの世話にも追われる日々となりました。

「ただ忙しいだけでもつらいのに、悩みを気軽に話せるような相手もいなくて」と母は訴え、さまざまな不安にどう対処していったらいいのか分からず、疲れ果てていることが明らかでした。

**【事前質問】**

Q1. 貴所属団体では、Bさんの母にどのような関わりができますか？

今後考えられる支援も含めて、具体的にご記入ください。

Q2. 貴所属団体では、この家庭にどのような関わりができますか？

今後考えられる支援も含めて、「だれに」「どのような」関わりができるか、具体的にご記入ください。